

一期一会



一期一会の意味を調べると、「一生涯にただ一度会うかどうかかわからぬほどの縁。出会いを大切にすることのたとえ」とある。別れと出会いの季節には、よく耳にする言葉であり、この節目の時に意識し、大切にしたい言葉である。この言葉を聞くと、私はある先輩教員を思い出す。その方は、長く中学校サッカー部の顧問をされ、いつの年もすばらしいチームをつくりあげた大先輩である。その先生との出会いが、その後の私にたいへん大きなものを与えてくれた。その先生が顧問をされたチームとは、何年もの間、練習試合で何度も相手をしていただき、実にたくさんのことを学ばせていただいた。当時、試合の依頼はいつも電話で行っていたが、日程などは印刷物でやりとりすることも多かった。その日程表には、必ず直筆で「一期一会」と記されていた。先生のチームが地区大会、県大会と勝ち上がり、東海大会出場を果たした年のことである。審判として県大会の運営に携わっていた私は、朝、会場で先生とお会いすることができ、エールを贈ることができた。試合前、選手たちのウォーミングアップの途中で先生の姿が見えなくなったが、しばらくすると、ベンチに座る先生を見つけた。その時、私は思わず先生を二度見した。なんとネクタイ着用のスーツ姿なのである。8月、ピッチ上は40度にも迫る暑さの中、当然汗びっしょりである。声をおかけすると、「相手チームに、審判に、大会関係者に敬意を払いたい」と話されたことを思い出す。出会った数多くの人の支えが今の自分をつくっている。そして、これからも。

3月7日（火）、第76回卒業証書授与式を挙行し、93名の卒業生に証書を授与しました。振り返れば3年前、約2ヶ月の臨時休校から始まった中学校生活。3密回避、ソーシャルディスタンス。様々な行事の延期、中止。数々の制限がなされた3年間。感染症対策が当たり前の日常になり、それまで当たり前であった日常が、当たり前にできない。当たり前であることのありがたさを誰もが痛感した。思い通りにならない、やりきれない日々の中で、前を向き、一步一步確実に歩んできた卒業生。遅しく健やかに成長を遂げた卒業生を保護者の皆様と教職員、そして、在校生とともに見送ることができました。

3月も残りわずかとなりました。保護者の皆様をはじめ、地域の皆様には今年度も品野中学校をあたたく見守っていただき感謝申し上げます。今後ともご支援いただきますようよろしくお願いいたします。